



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.10 (91)

2011.10.31

秋から一挙に冬へと、季節までが急ぎ足で過ぎていきます。季節の変わり目ですが、会員の皆様にはご健勝にてご清励のことと拝察いたします。いよいよ2011年も残すところ2ヵ月となりました。2011年を印象深く味のある年にするために、「ひとふんばり」といきましょう。

1 10月13日(木)は、本研究会の設立記念日です。漸く7歳を迎えたこととなります。7周年記念のお祝いを数人の会員の方々から頂戴いたしました。ここに、友情に感謝してお礼を申し上げます。ありがとうございました。「10周年」には、その記念に「盛大な」お祝いの行事をもちたいと思っています。会員の皆様には今後ともご支援・ご高配をよろしくお願いいたします。

2 定例研究会[東京]が以下の次第で開催されました[敬称略]。そのプログラムは以下のとおりです。

日時：2011年10月28日(金)。13時30分～17時30分。

会場：ファイザー(株) 2303会議室。

演者・演題

古川泰伸。生物学的同等性の評価におけるモデルの診断過程。

丸尾和司。加速モデルにおける共変量の誤特定について。

川端ゆみこ。生体リズムのモデル評価について。

高瀬貴夫。経時対応2値データの統計的診断。

後藤昌司。読書・思索・実践の過程：「ストレス」について。

後藤昌司・藤澤正樹。単回帰解析の過程における診断。

後藤昌司・伊藤雅憲・丸尾和司。『統計的変換論』構想。

最近の研究・開発の進捗に絡めて、活発な意見の応酬がありました。課題検討会は「みょうがや」で開かれ、7名の方々に参加されました。次回は11月18日(金)の予定です。

3 定例シンポジウム2011「医療で必要とされる統計的基礎知識」が以下の次第で開催されました[敬称略]。本シンポジウムは今回で10回目を数え、本研究会の伝統にふさわしい内容の充実したシンポジウムとなりました。

日時：2011年10月29日(土)。9時55分～17時15分。

会場：ファイザー(株) 会議室。

組織者：河合統介・富金原 悟。

今回のシンポジウムでは、「基本に還れ」の主旨のもとに医薬・医療における臨床評価の過程における統計的方法論の基本とその実践への活用が解説，議論されました。出席者は80名[有料参加者：21名。支援参加者：50名。講師・主催者：9名]で盛況でした。とくに，午前中の講演では，臨床試験のデザインを中心に，症例数の設計の話題がわかりやすく紹介されました。午後の講演では，実際の臨床試験のデータの解析で必ず問題となる欠測値の扱いと経時測定データの解析が丁寧に，かつ深く掘り下げて紹介されました。いずれの講演も実地での経験に立脚した含蓄のある内容でした。最後に，魚井 徹さんが過去から現代にわたる臨床評価の歩みと今に残る課題を紹介され，本シンポジウムに彩りを添えてくれました。ここに5名の講師の方々にお礼を申し上げます。また，このような有意義なシンポジウムを組織された河合統介，富金原 悟の両氏，さらに，本シンポジウムの諸務をこなしていただいた山邊太陽さん，五十川直樹さんに，お礼を申し上げます。ありがとうございました。



— 一定例シンポジウム 2011 のひとこま —

4 平成 23 年度中に予定されていますシンポジウムとセミナーを以下に列記いたします。『医学統計研究会の現況』(会報 6)でもご覧いただけますが，日時などが変更されています。ご注意ください。

(1) 特定主題シンポジウム 2011 「個の医療に対する最新の話題」が以下の次第で開催されます[敬称略]。プログラムは既にホームページに呈示しています。多くの方々のご参集をお願いいたします。

日時：2011 年 11 月 19 日(土)。

会場：エーザイ(株) 別館会議室。

組織者：高瀬貴夫・杉本知之・松原義弘。

(2) 定例主題セミナー 2011 「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」が以下の次第で開催されます[敬称略]。従来どおり，演習を実施するため参加人数枠は 20 名です。

日時：2011 年 11 月 24-25 日。

会場：大阪 NPO プラザ・会議室 E

〒553-0006 大阪市福島区吉野 4 丁目 29-20

組織者：前田 博(他 1 名)・藤澤正樹.

- (3) ウィンター・フォーラム 2011 が以下の次第で開催されます。会員の皆様には奮ってご参加いただきますようお願いいたします[敬称略]。現在、プログラムを作成中です。第 1 次プログラムの配信を 11 月 10 日に予定しています。多数の方々のご発表をお願いいたします。

日時：2011 年 12 月 3 日(土)。9 時 30 分～17 時 30 分。

会場：大阪大学 基礎工学部。

納会：同日 18 時 30 分～21 時。

会場：「音羽茶屋 池田総本店」：大阪府池田市井口堂 1-13-12 [TEL：072-763-1237]

連絡先(当日)：山口祐介：080-1744-2746・大山秀輔：090-8368-4030

吉川隆範：090-5892-9593・亀山日名子・後藤 孚。

- (4) 特定主題シンポジウム 2012 「初期臨床開発の意思決定」が以下の次第で開催されます。

日時：2012 年 2 月 4 日(土)。

会場：アステラス製薬(株)。

組織者：伊藤雅憲・藤澤正樹・魚井 徹。

先にご連絡した日程が変更されていますのでご注意ください。

- 5 今月に開催されました連携事業と、今後に予定されています啓発活動および連携事業は以下のとおりです。

- (1) 大分統計談話会第 44 回大会が以下の次第で開催されました[敬称略]。とくに、特別講演 2 題
小根山千歳。「がん細胞正常化」を目指して：細胞内シグナルのリチューニング。

輪田純一。医師不足の中山間地における地域医療の最前線。

と特別セッション

「CRO—医薬産業の連携」, 「医薬品の安全性評価の再考」
が好評でした。

日時：2011 年 10 月 13-14 日。

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AV ホール。





—大分統計談話会第 44 回大会のひとこま—

(2)大分統計談話会・第 45 回大会が以下の次第で開催されます[敬称略].

日時：2012 年 2 月 16-17 日.

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AV ホール.

現在、プログラムを構成しています，特別講演に P.C.Wang 先生(Chang Gung University)が決まっています.

(3)「医学統計学・疫学分野の最前線」シンポジウムが平成 23 年度山梨大学シンポジウムグローバル COE として 2011 年 11 月 2 日に山梨大学にて開催されます. 当シンポジウムを特定非営利活動法人 医学統計研究会が後援しています. プログラムは既に配信されています. 招待講演は以下のとおりです. ご講演・参加をよろしくお願いいたします.

古賀 正, 他. 医薬品開発における TQT 試験の現状と問題.

座長. 磯村達也

松原義弘. 先端医療と橋渡し研究：医師と統計家の連携.

座長. 河合統介

柴田義貞. 広島・長崎, TMI, チェルノブイリ, 福島

—公衆における放射線被曝の健康影響—

座長. 後藤昌司

お問い合わせは下川敏雄(shimokawa@yamanashi.ac.jp)または特定非営利活動法人 医学統計研究会(gotoo@bra.or.jp)にお願いいたします.

(4)Joint meeting of Taipei Symposium 2011 and 7th IASC-ARS が以下の次第で開催されます.

日時：2011 年 12 月 16-19 日.

会場：Academia Sinica, Taipei, Taiwan.

URL：<http://Joint2011.stat.sinica.edu.tw/>

Newsletter 編集：

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介・大山秀輔・横山隼人・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニュースレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます.